

令和6年度鹿児島県優秀教職員表彰 46人と4組織が決まる！

教職員課

令和6年度鹿児島県優秀教職員表彰の表彰式、意見交換会を実施しました。



11月25日(月)に令和6年度鹿児島県優秀教職員46人及び教職員組織4組織の表彰を行いました。

この表彰は、学校教育における学習指導や生徒指導などの各分野において、顕著な実績のある教職員に対して、その功績を表彰し、併せて本県教職員の意欲及び資質能力の向上に資することを目的として、平成20年度に始まり、今回で17回目となりました。また、教職経験が10年未満で、学校教育における教育実践等に顕著な成果を上げ、今後更なる活躍が期待できる教職員を「若手教職員等奨励賞」として表彰しています。

表彰式は、11月25日(月)に県庁で行われ、教職員個人の部では、小学校18人、中学校19人、高等学校7人、特別支援学校2人が表彰されました。このうち小学校3人、中学校3人が「若手教職員等奨励賞」として表彰されました。また、教職員組織の部では小学校、中学校、高等学校、特別支援学校からそれぞれ1組織が表彰されました。教職員個人の各分野の受賞者数は、学習指導分野22人、生徒指導分野4人、進路指導分野1人、学校体育・学校保健・学校給食分野2人、特別支援教育分野4人、部活動指導分野3人、学校事務分野3人、その他(学校運営・地域連携等)7人となっています。

表彰状授与後、受賞者を代表して鹿児島県立吹上高等学校の西美幸教諭が、「これまで勤務してきた学校で、微力ながらも子どもたちの指導に携わり続けることができましたのは、上司や同僚、保護者、そして、県教育委員会をはじめ、関係者の皆様に支えられたお陰であると感謝しております。児童生徒が、卒業後自立し、未来の鹿児島を担い、社会を支える存在となるための知識や技術、態度の習得・定着を図り、豊かな生活が送れるよう、私たち一人一人がこれまで以上に研究と修養に努め、精進してまいりたいと存じます。」と挨拶しました。

表彰式終了後は、教育委員との意見交換会を行い、教育委員から優秀教職員の実践に対して様々な質問が出されました。また、優秀教職員の方々も他の方々の実践を直接聞くことで、新たな刺激を受けているようでした。



〔意見交換会の様子〕

県教育委員会ホームページに、受賞者の教育実践を紹介しています。

